

問1 中国の経済発展に関連する地域的特徴について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 香港やマカオは、経済特区と同じ仕組みを持つ「自治区」として内陸部を牽引した | 2. 深圳や廈門といった沿海部の都市が経済特区に指定され、外国資本の窓口となった | 3. 沿海部のすべての都市において、外国企業の活動を制限して国営企業の育成を図った | 4. ラサやウルムチといった内陸部の都市に経済特区が集中し、重化学工業が発展した |
|--|--|---|--|

問2 タイやマレーシアでは、1980年代以降に工業化が推進されました。2015年時点の統計において、タイでは輸出額の約31.6%、マレーシアでは約40.3%を占めるまでに成長した、工業化を象徴する品目を選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 衣類 | 2. 天然ゴム | 3. 機械類 | 4. 原油 |
|-------|---------|--------|-------|

問3 南アジア諸国の工業について、インド、パキスタン、スリランカの3か国を比較したとき、インドの工業出荷額とその構成に関する説明として最も適切なものはどれですか。なお、2018年時点のインドの工業出荷額は約1兆2966億ドルであり、周辺諸国と比べて突出した規模となっています。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 石油製品、化学、金属、機械といった重化学工業の割合を合計すると、全体の6割を超えている。 | 2. 繊維工業や食料品工業などの軽工業が中心であり、重化学工業の割合は全体の3割に満たない。 | 3. 周辺諸国と比較して食料品工業の割合が最も高く、重化学工業よりも農産物加工が優先されている。 | 4. 工業出荷額の規模は大きいものの、出荷額の内訳ではスリランカよりも食料品工業の金額が少ない。 |
|---|--|--|--|

問4 1980年代後半、欧州や北米で経済のブロック化が進む動きが見られるなか、アジア・太平洋地域において1989年に新たな協力の枠組みが設立された。その設立の背景や目的を説明した文として適切なものはどれか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 石油などのエネルギー資源を安定的に供給するため、資源産出国の利害を調整することを目的にするため | 2. 地域内の多様性を尊重しながら、貿易や投資の自由化を促進して経済的な結びつきを強めるため | 3. アジア・太平洋地域における軍事的な協力を強化し、集団安全保障体制を確立するため | 4. 加盟国間での共通通貨を導入し、ヨーロッパのような政治的・経済的な統合を果たすため |
|--|--|--|---|

問5 中国政府が沿岸部の特定の地域を経済特区に指定し、外国企業に対して税制上の優遇措置を与えた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 外国製品に対する関税を高く設定することで、国内の伝統的な地場産業を保護するため | 2. 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため | 3. 国内の農村部から都市部への人口移動を厳しく制限し、食料自給率を維持するため | 4. 特定の地域において少数民族の伝統的な文化や言語を保護し、高度な自治を認めるため |
|--|---|--|--|

問6 タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国が加盟している組織の現状について、誤っている説明を選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 資源開発や工業化を背景に急速な経済成長を遂げており、世界の成長センターの一つとして注目されている | 2. 東南アジア以外の国である日本や中国、韓国とも協力関係を築いており、首脳会議などの話し合いの場を持っている | 3. ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した | 4. 域内での関税を原則として撤廃するなど、経済的な結びつきを強める「ASEAN経済共同体」を形成している |
|---|---|---|---|

問7 日本企業がアジアの新興国へ工場を進出させる要因について、労働賃金の観点から述べた説明として、空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。「韓国や中国と比較して、ベトナムなどの新興国は（①）が著しく（②）ため、企業は（③）を低減させる目的で進出を加速させている。」 (2017年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1. ①月額平均賃金 ②高額な ③関税 | 2. ①月額平均賃金 ②安価な ③生産コスト | 3. ①天然資源の価格 ②安価な ③輸送コスト | 4. ①会計特殊出生率 ②高い ③販売価格 |
|---------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------|

問8 アジアに位置する国々のうち、日本よりも国土面積が広く、かつ海に面していない「内陸国」に該当する国はどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-------|----------|
| 1. ベトナム | 2. モンゴル | 3. タイ | 4. フィリピン |
|---------|---------|-------|----------|

問9 世界地図において、アフリカ大陸の東側に位置し、紅海とペルシャ湾に挟まれたアラビア半島の大部分を占める国はどこですか。最も適切な名称を選択してください。 (2025年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|--------|-----------|
| 1. エジプト | 2. サウジアラビア | 3. インド | 4. インドネシア |
|---------|------------|--------|-----------|

問10 世界地図において中東のペルシャ湾の入り口付近に位置し、2018年の統計でコンテナ取扱量が約1700万TEU（世界第10位）を記録した、石油輸送の要所に位置する港湾都市はどこですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|--------|-------|
| 1. ロッテルダム | 2. シンガポール | 3. ドバイ | 4. 釜山 |
|-----------|-----------|--------|-------|

問11 南アジア諸国の宗教 distribution（分布）について述べた文として、正しいものはどれか。ただし、インドはヒンドゥー教徒が多数派であるものとする。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。 | 2. 南アジア全域において、仏教が最も信仰されている地域は、パキスタンからアフガニスタンにかけての国境地帯である。 | 3. インドの北側に位置するネパールは、世界で唯一キリスト教を国教とする国として知られている。 | 4. 南アジアの島国であるスリランカでは、インドと同様にヒンドゥー教徒が人口の9割を超えている。 |
|--|---|---|--|

問12 インドにおいて、高度な知識や技術を持つ人材を背景に、世界的な拠点となっている産業の名称として正しいものはどれか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-----------------|---------|
| 1. 石油化学工業 | 2. 自動車工業 | 3. 情報技術産業（IT産業） | 4. 繊維工業 |
|-----------|----------|-----------------|---------|

問13 東南アジアの多くの地域で見られる「雨季」と「乾季」の仕組みと、それが自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 一年を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、季節による降水量の変化はほとんどなく、湖の面積は年間を通じて一定に保たれる。 | 2. 一年中西から東へと吹く偏西風がヒマラヤ山脈にぶつかると、山麓の地域だけに大量の降水をもたらす、下流の湖の面積を変動させる。 | 3. 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。 | 4. 数年おきに発生するエルニーニョ現象によって、雨季の時期だけ極端に海水温が上昇し、その水蒸気が供給されることで降水量が著しく増加する。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 深圳や厦門といった沿海部の都市が経済特区に指定され、外国資本の窓口となった	経済特区は、海外との交通の便が良く、海外に住む中国系の人々（華僑）からの投資が得られやすい南部の沿海地域に設置されました。深圳、厦門、珠海（チューハイ）、汕頭（スフトウ）、海南（ハイナン）などがその代表例です。これに対して内陸部は開発が遅れ、沿海部との経済格差が課題となっています。
問2	答え 3 機械類	1980年時点では、タイやマレーシアの主要な輸出品目は天然ゴムや原油、木材などの一次産品でした。しかし、その後の工業化によって輸出額全体が大きく伸びるとともに、輸出品目の内容も変化しました。2015年にはどちらの国でも機械類の輸出が最も大きな割合を占めるようになり、特に電子機器や電気機器、自動車部品などの工業製品が世界各地へ輸出されています。この変化は、東南アジアが「世界の工場」の一部として機能するようになったことを示しています。
問3	答え 1 石油製品、化学、金属、機械といった重化学工業の割合を合計すると、全体の6割を超えている。	インドは南アジアの中で圧倒的な工業規模を誇っており、その産業構造は高度化しています。2018年の統計によれば、機械（21.8%）、金属（17.2%）、化学（13.1%）、石油製品（12.8%）となっており、これら重化学工業に該当する分野の合計が約64.9%と、全体の6割以上を占めているのが大きな特徴です。繊維工業などが中心となる周辺諸国とは、工業の構造が大きく異なります。
問4	答え 2 地域内の多様性を尊重しながら、貿易や投資の自由化を促進して経済的な結びつきを強めるため	APECは、経済発展の段階が異なる多様な国や地域が参加しているため、強制的ではない「対話と協力」を基本としています。世界の経済が特定の地域ごとにまとまっていく動き（ブロック経済化）に対抗し、開かれた経済協力を進めることで、地域全体の繁栄を図ることを目的としています。
問5	答え 2 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため	当時の中国は、経済を活性化させるために国外の資金や優れた技術力を取り入れる必要がありました。そのため、沿岸部の都市を窓口として開放し、外国企業が活動しやすい環境（インフラの整備や税制優遇）を整えることで、輸出拡大と国内産業の近代化を目指しました。これは「改革・開放」政策の根幹をなす取り組みです。
問6	答え 3 ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した	ASEANの加盟国はあくまで東南アジアの国々に限られており、ヨーロッパ連合（EU）から加盟国が移籍してきたという事実はありません。ASEANは日本、中国、韓国と「ASEAN+3」といった枠組みで協力したり、域内での関税撤廃を進めて経済的な一体感を高めたりすることで、世界経済における存在感を高めています。
問7	答え 2 ①月額平均賃金 ②安価な ③生産コスト	製造業などの企業が生産拠点を海外へ移す際、最も注目する指標の一つが労働者の賃金水準です。統計データにおいてベトナムなどの新興国は、周辺の発展した国々と比べて月額平均賃金が安価な傾向にあります。人件費が安く済むことは、製品を一つ作るために必要な生産コストの削減に直結するため、多くの企業が進出を検討する要因となります。
問8	答え 2 モンゴル	モンゴルは中国とロシアに挟まれた内陸国で、海に面していないのが大きな特徴である。その面積は日本の約4倍と広い。タイやベトナムは海に面しており、フィリピンは島国であるため、条件に当てはまらない。
問9	答え 2 サウジアラビア	サウジアラビアは西アジアに位置し、アラビア半島の約8割を占める広大な国です。西側は紅海、東側はペルシャ湾に面しており、地理的に非常に重要な位置にあります。アフリカ北部のエジプトや、南アジアのインド、東南アジアのインドネシアとは位置が異なります。
問10	答え 3 ドバイ	ペルシャ湾の入り口という石油輸送の重要なルート（ホルムズ海峡付近）に位置するこの都市は、アラブ首長国連邦のドバイです。シンガポールはマラッカ海峡、ロッテルダムはライン川河口、釜山は朝鮮半島南部に位置しており、地理的条件が異なります。ドバイは中東における物流・金融の最大拠点として、世界トップクラスの港湾機能を備えています。
問11	答え 1 インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。	南アジアはかつてイギリス領インドとして統治されていましたが、独立の際に宗教的な対立から、ヒンドゥー教徒が多数派のインドと、イスラム教徒が多数派のパキスタン（後のバングラデシュを含む）に分かれた経緯があります。スリランカやブータンでは、仏教徒が多くなっています。
問12	答え 3 情報技術産業（IT産業）	インドでは1990年代以降、ベンガルール（バンガロール）などの都市を中心にソフトウェア開発などが盛んになり、情報技術産業（IT産業）が経済成長を牽引しています。これは、アメリカ合衆国などとの時差を利用して、24時間体制で開発業務を継続できる利点も活用されています。機械工業や繊維工業も存在しますが、近年の急速な成長と国際的な競争力の象徴となっているのはIT分野です。
問13	答え 3 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。	東南アジアの地理的特徴として、季節風（モンスーン）による降水量の劇的な変化が挙げられます。カンボジアのプノンベン近郊などでは、夏から秋にかけての雨季に降水量が集中します。この気候メカニズムによって、トンレサップ湖では4月の約3,300km ² から10月の約11,600km ² へと、季節によって湖の姿が大きく変わる環境が形作られています。選択肢にある偏西風は主に日本などの中緯度帯に影響を与える風であり、エルニーニョ現象は周期的な異常気象を指すため、毎年の安定した季節サイクルを説明するものではありません。